

地域生活支援拠点等の整備促進、  
必要な機能の強化・充実のための  
都道府県ブロック会議

【事例発表】

平成31年2月8日(金)  
金沢市福祉局障害福祉課  
自立支援係  
係長 徳山 一也

写真提供:金沢市

## 1

# 金沢市の概要

- 人口 465,309人 (平成30年10月1日現在)
- 障害のある人の状況 (平成30年10月1日現在)

身体障害者手帳所持者	15,763人
療育手帳所持者	2,995人
精神保健福祉手帳所持者	3,898人

## 【障害者手帳所持者】

- 精神保健福祉手帳 増加
- 療育手帳 増加
- 身体障害者手帳 微減

## 【その他】

- 診療所や病院が充実している。

【金沢市の位置】



## 2 地域生活支援拠点等の整備プロセス、整備類型、概要(1)

### 整備のプロセス

平成27年4月、障害者自立支援協議会に「基幹相談支援センター設置等検討専門部会」を設置し、検討を開始

平成28年4月、障害者自立支援協議会に「地域生活支援拠点等整備検討専門部会」を設置

- ・基幹相談支援センター設置等検討専門部会は発展的に解消
- ・「緊急時の受入れ・対応」「体験の機会・場」を、優先的に整備

平成28年10月に「金沢市障害者基幹相談支援センター」を設置

### 3 地域生活支援拠点等の整備プロセス、整備類型、概要(2)

#### 整備のプロセス

平成29年4月、「知的障害のある人」の緊急受入れ・対応を、  
最優先で整備

平成29年7月、専門委員を中心に作業チームを発足  
・「対象者、緊急時」の定義を策定

平成30年8月、地域生活支援拠点モデル事業の実施  
・知的障害のある人の緊急受入れの場  
・障害のある人の受入れ実績等から、社会福祉法人松原愛育会に委託

平成30年8月、モデル事業対象候補者向けニーズ調査  
・緊急時の対応、体験の機会・場等を紹介

## 4

## 地域生活支援拠点等の整備プロセス、整備類型、概要(3)

整備類型

未定

概要

5つの機能のうち、「緊急時の受入れ・対応」、「体験機会・場」を優先整備

重度の知的障害のある人の「緊急時の受入れ・対応」を最優先に整備

・対象者像：重度の知的障害のある障害福祉サービスの未支給者  
対象候補者の実態把握として、ニーズ調査を実施

その他の機能については、専門部会等で、既存資源の活用の整理を実施予定

## 5 各機能の具体的な内容

緊急時の  
受入れ・対応

重度の知的障害のある人を対象とした「モデル事業」の実施  
モデル事業の検証、他障害への対応の検討  
サービス支給決定者は、「緊急短期入所受入加算」等サービスで対応  
サービス未決定者とサービス支給決定者との制度利用範囲の設定  
ニーズ調査による対象候補者の実態把握を実施 等

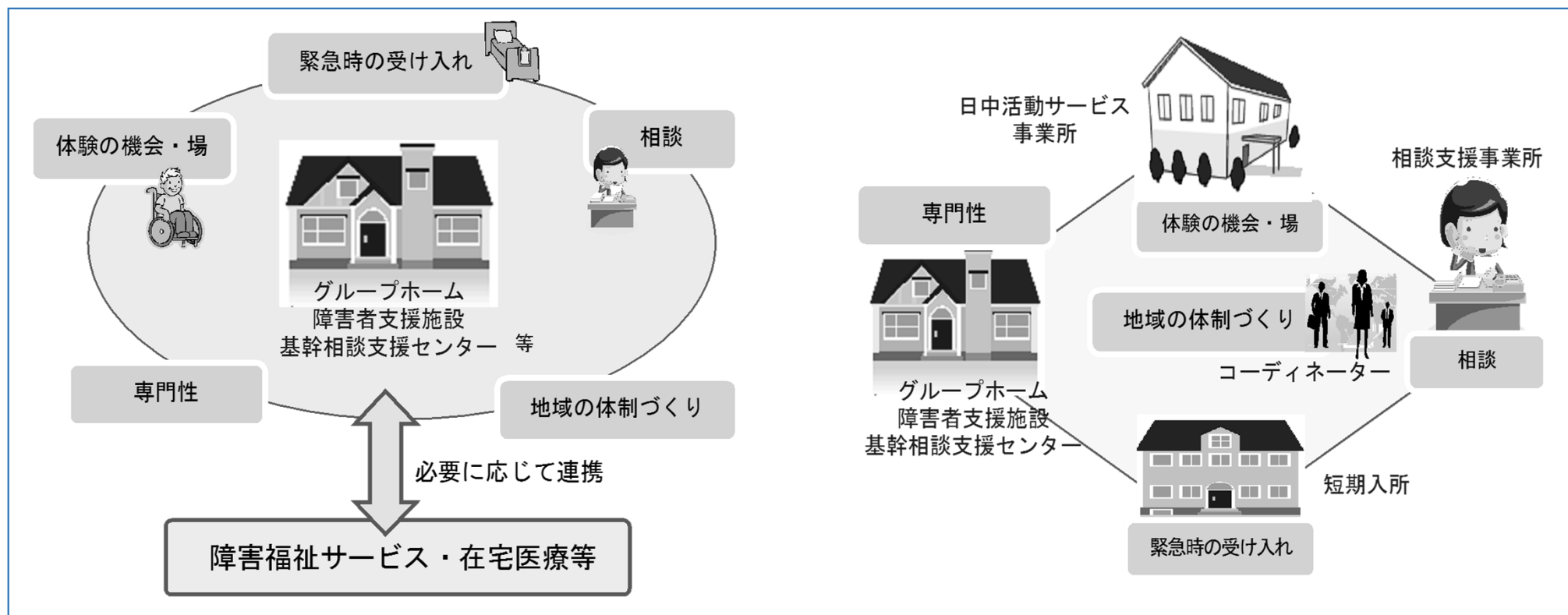
体験の機会・場

既存のサービス提供事業所による地域生活支援拠点等の生活訓練や  
グループホーム等での体験利用の活用  
「緊急受入れの場」活用の検討 等

相談  
専門性  
地域の体制づくり

基幹相談支援センター、委託相談支援事業所、各サービス提供事業所  
等既存の資源活用の検討  
基幹相談支援センター等の研修体制の充実の検討  
各サービス事業所ごとの連絡会(任意)等の活用の検討 等

## 6 地域生活支援拠点等のイメージ図



「相談」「体験の機会・場」「緊急時の受け入れ・対応」「専門性、地域の体制づくり」の各機能の整理後、整備方針を確定

## 7 地域生活支援拠点等における支援の事例

実施事例なし

## 8 地域生活支援拠点等の整備・運営における今後の課題・方針

財源の確保

既存資源の整理

持続可能な制度設計